

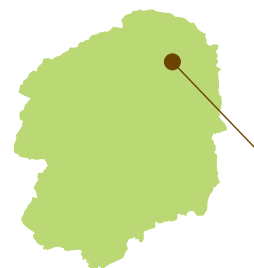
牧場経営の重要部門を女性が担う！

# 有限会社ハーレー牧場

※2016年3月現在

※登記時の法人名は「有限会社ハーレイ牧場」。

代表者名	月井 美好	資本金	30 百万円
設立年	1998 年 11 月 9 日	売上高	152 百万円 (2015 年 7 月期)
事業内容	生産 (酪農)、消費者直売 (駅構内売店等)	経営規模	田 5ha、畑 20ha、直売所 3㎡、畜舎 6,000㎡、経産牛 180 頭、育成牛 70 頭飼養
従事者数	7 人 (うち女性 3 人。女性内訳: 役員 2 人、一般職 1 人)		
女性活躍支援	[女性に配慮して取組んだ環境整備] 施設設備関係 (休憩室・屋内トイレ・シャワーの設置)、重労働等の業務改善、技術・知識の習得支援		



栃木県  
那須塩原市

## 経営概況

(有)ハーレー牧場は、1998年に月井美好氏(代表取締役)が法人化した酪農経営体であるが、2003年に大規模化を図る以前は社長の妻月井千枝子氏が一人で飼養管理を担当できる程の、零細な経営だった。2003年に160頭の牛舎・8頭のスイング式パーラー舎を新築。2004年4月に使用を開始し、同時に長女のさとみ氏と長女の友人の小川玲子氏から入社申し出があったことから2名を社員として採用した。同年7月にはサラリーマンと兼業していた社長も早期退職し農業

専業となり、4名体制で経営をリニューアルさせた。

現在の規模は、田5ha、畑20ha、直売所3㎡、畜舎6,000㎡、経産牛180頭、育成牛70頭で、2012年に第二牧場を取得している。その間、2008年4月に長男を、2010年4月に高卒男性を、2011年4月に47歳の男性をいずれも社員として採用しており、現在の従事者数は7名(女性3名)となっている。役員数は3名で、千枝子氏が取締役牧場長を務め、2006年4月に自社ブランド商品の販売会社である(有)ハーレーファームを分社化した際に、千枝子氏が代表取締役を兼任し、長女のさとみ氏も取締役に就任している。

ハーレーファームでは消費者ニーズを捉えた商品開発を企画し、駅構内売店や観光地でノンホモジナイズ牛乳、ヨーグルト2種、バター(有塩・無塩)、チーズ(ゴーダ・カチョカバロ)の販売や自給飼料の生産を行っている。

2015年7月期の売上は1億5,200万円で、2013年7月期の1億2,810万円よりも売上を伸ばしている。



## 1. 経営者の意識改革

1965年に乳牛2頭で酪農経営を始めたが、美好氏が兼業だったため、妻の千枝子氏が人工授精師の資格を取得しながら50頭規模まで広げた経緯がある。そのため、ハーレー牧場ではこれまで女性が中心となって経営を成り立たせていた。

売上高にして10年前と比べ7倍となる規模拡大した現在においても、長女で人工授精師のさとみ氏が繁殖管理と搾乳、小川玲子氏が削蹄士として削蹄と疾病管理を、それぞれ担当している。2名ともトラクターの免許を取得させており、自給飼料の生産でも男性社員をリードしている。

## 2. 女性職員の役員への登用と長く働ける職場づくり

法人化に際し、妻の千枝子氏が取締役牧場長に就任し、ハーレーファームでも千枝子氏と長女のさとみ氏を役員とした。中長期的なキャリアアップとして、さとみ氏が将来経営者として自立できるように、責任ある仕事を任せようとしている。ハーレーファームの売り上げも本業売上げの10%強を占めるようになっており、順調に推移している。

社長の美好氏は大手企業での勤務経験を踏まえ、従業員を社会保険・厚生年金・雇用保険・労災保険等に加入させることで、退職後の生活不安を取り除くとともに、福利厚生の充実により働き甲斐・生き甲斐を見つけることを念頭に置いた。

社員が安心して働ける環境を実現したいと考えた結果、これまでに退職者が一人も出なかったことが、最大の成果だと考えている。これは社長がサラリーマンを経験していたことで、働く人の心情を理解していたこと、働く人のニーズを把握していたことが要因ではないかと受け止めている。

## 3. 子育て・出産に係る制度

今のところ、女性従事者の子育て・出産に係わる制度の利用実績はないが、男性従事者は家庭を持っているため、仕事と家庭が両立できるよう支援を行っている。

## 4. 女性が働きやすい環境の整備

パーラー舎内に女性専用のシャワー付き浴室・更衣室・休憩室、個人用の机、男女別の車椅子兼用トイレなどを設置し、女性が働きやすい環境を整備している。

また、作業予定掲示板・分娩予定表示板の設置や、月1回の飼料メーカーとの勉強会、週1回のスタッフミーティングを行い従事者の間で情報の共有化に努めている。研修として、アメリカの牧場視察研修の実施に合わせて全米ホルスタイン共進会の視察にも参加している。

### 審査委員の声

大手通信会社の営業所長として活躍してきた、月井美好社長の豊富な組織運営の経験が、ハーレー牧場の事業拡大の推進力だ。ただし、それには3人の女性に支えられたものだ。社長が55才で同社専業になるまで飼養・繁殖管理をほぼ一手に引き受け、中央畜産会の全国女性ネットワークの設立にも関わった、妻で牧場長の千枝子さん、酪農短大を卒業、人工授精師の資格を持つ娘さんとその友人である。娘さんと友人の2人は搾乳や削蹄、そして自給飼料生産のための農作業、トラクター運転を中心となって担う。

「今までやめた人はいない」との自負を持つ社長は、女性に配慮した職場環境づくりに気を配りながら、さらなる事業拡大をにらんでいる。